

長野県職業能力開発審議会答申(案)に係る意見募集(パブリックコメント)の実施結果

産業労働部産業人材育成課

◇ 募集状況

- 1 意見募集期間 令和3年6月9日～7月9日(31日間)
- 2 意見募集内容 「長野県産業人材育成プラン2.0(第11次長野県職業能力開発計画)に係る審議会答申(案)」に対する意見
- 3 意見提出状況 2件(意見提出者 1個人、1団体)

◇ ご意見の内容と審議会の考え方

番号	答申案 (R3.6.9版)		ご意見	審議会の考え方
	頁	項目		
1	18ページ	第3部 基本施策 1(1) Society5.0の到来を見据えたデジタル人材育成の強化	今後、長野県の産業が一層成長していくには、生産性向上や新規ビジネス創造のため、先端設備への投資とあわせて人材への投資を増やす必要がある。 民間では、DX時代に求められる人材を育成するためにリスクリング分野への投資が注目されている。 長野県の計画ではリカレント教育の重要性が強調されているが、リスクリングの視点が不十分のように思われる。 民間のリスクリングへの支援について盛り込んでいただきたい。	ご意見を踏まえ、「第3部 1(1)Society5.0の到来を見据えたデジタル人材育成の強化」及び「第3部2(1)リカレント教育による新たな職業能力の開発」の部分に、リスクリングに関する取組を追記しました。
2	34ページ～	第4部 基本施策の実現に向けた国、県、民間による産業人材育成体制の構築 1 官民の役割分担・連携と資源の効果的・効率的活用	県技術専門校の自動車整備科に類する民間の専門学校は、県内に2校存在するが、その所在地は長野市と松本市であり、県内一部地域には対応していないところである。次のとおりの理由から現在ある松本、飯田の両技術専門校の同科について、引き続き運用していただきたい。 1. 近年、岡谷技術専門校(同科)が廃止されましたが、県内に限らず全国的に自動車整備士が不足しており、約5年前から国において自動車整備士の人材確保・人材育成に働きかけているところではある。 2. 近年の不景気のおりを受け、経済状況により希望する職種の専門学校等への進学を泣く泣くあきらめる学生もすくなくいるところである。 3. 自動車(自動運転技術等)の技術革新は非常に速いスピードで進んでおり、従事にもまして基本的な技術の習得と最新技術の習得がより必要となっています。民間機関においては時間的な制約等もあり十分な育成が困難であると考えます。当会の技術講習所においても受講者数は増加傾向にありますが、働きながら学ぶことから教育内容等について一定の制約があります。 以上の様なことから国民生活にとって不可欠な自動車整備に係る技術者の養成は必要であるとともに、官と民が協力し行うことがより効果的であると考えます。 従って、是非とも上記両校における同科を存続していただきたい。	技術専門校の訓練科のあり方については、答申案の「第4部 1官民の役割分担・連携と資源の効果的・効率的活用」に、「人口減少が本格化する中、効果的・効率的な訓練体制確保の観点から、ポリテクセンターや専門学校の実施する訓練分野と重複する技術専門校の訓練科、技術専門校間の類似する訓練科のあり方について検討します」と記載しています。また、「第4部 2 工科短期大学校及び技術専門校の今後の方向」に「地域の産業界のニーズや定員充足率、就職率等を勘案した訓練科の改編やカリキュラムの見直しを行います」と記載しています。 いただいたご意見については、今後の検討の際の参考とさせていただきます。